

# やぎわ 矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員



Photo: 駅頭演説 講演会にて  
Vol 15  
2019Jun~2019August

討議資料

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。  
市議会2期目が5月3日からスタート致しました。5月に行われた臨時議会における選挙にて、新議長・副議長が選出されました。今年度は5つある常任委員会の中で環境・交通・港湾を所管する環境委員会に所属となりました。今回Vol.15では、7月3日に閉会となった令和元年第3回川崎市議会定例会について報告致します。

## 第3回定例会での質問 ③項目

### 1 市内バス停におけるベンチ設置の拡充について

**Q** 高齢化が進む中、高齢者が外出しやすい環境づくりを進めていくことは大変重要な取組みであります。バス停におけるベンチ設置は市バス・民間バス問わず、多くの市民から充実が求められています。バス停や歩道のベンチは、道路管理者の許可を得ての設置となります。ベンチを設置した後の有効幅員が2m以上確保されていることなど、諸条件を満たした場合に限り設置が認められています。

他方、こういった「ベンチ等の占用規定」に合致しているのにも関わらず、ベンチが設置されていない、予定もされていないバス停が民間バス路線を中心に多く存在しています。これまで本市はベンチ設置要望に関し、民間バス事業者とどのような折衝を行ってきたのか、その結果どのような成果が出ているのか伺います。民間バス路線において、設置が進まない理由及び、今後の方向性をどのように考えているのかヒアリング出来ているのか伺います。乗車人員の約6割が民間バスである実態からも、ベンチ設置に向けた協議を早急に民間バス事業者と進めていくべきですが、見解を伺います。

**A** 民間バス事業者が管理するバス停留所に、ベンチを設置して欲しい旨の要望が市に寄せられた場合、都度、民間バス事業者に要望の旨を伝えているが、結果は把握していない。ベンチ設置に向け、これまで市として民間バス事業者にヒアリングを実施したことないが、高齢化社会を迎える中で、バスの利用環境向上のための必要な設備と認識している。今後は、「川崎市・バス事業者連絡協議会」を通じて一層の情報共有を図るとともに、整備に関する課題などを含め、関係者で意見交換を行っていく。

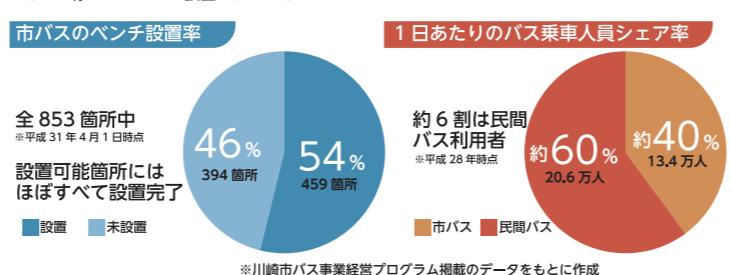


これまで、市として民間バス停も含めたベンチ拡充については、議題として挙げた事すら無かったのが現状です。

今回の質問で市として、

- ・民間バス停においても、ベンチは必要な設備であること
- ・今後は同協議会でしっかりと意見交換を行っていく

こういった答弁があった事は大切な一步が踏み出せたと考えております。今後も定期的に取組み状況を注視しながら、市民のバス乗車環境が改善に向かうよう取り組んで参ります。



### 2 緑地政策における農地の位置付けと取組について

当方ホームページで質疑の内容等を掲載していますのでご確認いただければ幸いです。

QRコード読み取りで  
詳細内容が確認できます



### 3 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の移転について

当方ホームページで質疑の内容等を掲載していますのでご確認いただければ幸いです。

QRコード読み取りで  
詳細内容が確認できます



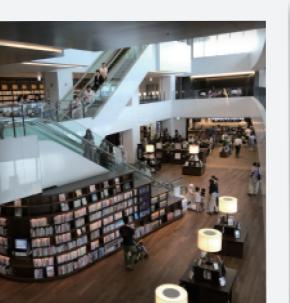
## 日々の活動



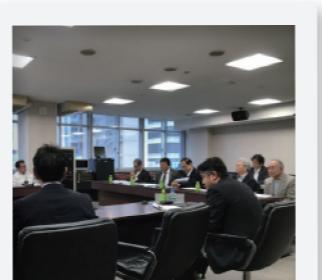
交差点の安全性確保に向けた取組  
①※通学時間帯の様子



交差点の安全性確保に向けた取組  
②※通学時間帯の様子



来館者数800万人を超える注目の「大和市文化創造拠点シリーズ」を視察



市内50以上の団体皆様とのヒアリングを実施



野川神明社境内整備事業を推進



市内唯一の認知症専門病棟である「かわさき記念病院」を視察



日々の駅頭活動の様子



海洋プラスチック問題等の最先端技術情報を得る為、NEDOピッチにも出席



公園へのバスケットゴール設置に向けた取組



### 統一地方選挙・参院選挙それぞれの投票率について

7月に行われた第25回参議院議員通常選挙。投票率は48.80%と24年ぶりに50%を割る残念な結果となっていました。※川崎市の投票率は49.42%（前回比-6.41%）。先の4月に行われた川崎市議会議員選挙の投票率は41.43%。その中でも注目されていた年代別投票率が以下のとおり、先日公表された為ご報告致します。

#### 年代別投票率



### 人気記事ランキング

#### 1位

参議院選挙も折り返し！～「島村大」でお願い致します！～



#### 2位

川崎市の食品ロス削減に向けた取組み

詳しくはホームページからご覧下さい。

矢沢たかお

検索

#### 3位

政治に対する若者の意識～保守政党と革新政党の位置付け～

詳しくはホームページからご覧下さい。

矢沢たかお

検索

# 第3回川崎市議会 定例会のご報告

## 川崎市議会定例会 6月議会

6月10日～7月3日の会期にて令和元年第3回定例会が開催され、代表質問（質問者：橋本勝団長）を6月19日に行いました。天皇陛下のご即位への祝意を申し上げる一方で、多摩区登戸新町における死傷事件の亡くなられた2名に哀悼の意を捧げるとともに、被害者にお見舞いを申し上げ、再発防止にむけた取り組みの強化を市に求めました。

本定例会には38億円を減額する本年度一般会計補正予算案など31議案が上程されました。橋本団長は、「市政95年を迎える今、活力ある経済・安心できる持続可能な社会を実現することを目指す」として、市長はじめ関係各局に質問しました。



上：山崎直史議長  
下：橋本勝団長



### 議会かわさき広報キャラクター およよん

「議会かわさき」広報キャラクター“およよん”は、昨年誕生しました。名前の由来は「市外局番044」！市民に親しまれる、柔らかなイメージを持っており、市議会としてもより市民に身近で親しみやすい、開かれた議会の象徴となる事を願っています。

## 人権全般条例 罰則規定必要！？

「(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」の実効性について日本国憲法が保障する「表現の自由」について留意しつつ、「罰則規定を設けることなどにより、その確保を図ってまいりたい」と市長が議場ではじめて答弁しました。本条例案には賛否両論あり、今後文教委員会で議論を尽くしていきます。

## 交差点の安全対策

5月8日、滋賀県大津市で痛ましい事故が発生しました。本市においても鹿島田の店舗に車が突っ込む等、交差点の安全対策は急を要します。答弁では、今後市として、幹線道路の主要交差点約500ヶ所のガードレールや車止めポール等の設置状況を確認し、結果をふまえ、交通管理者等と協議し、適切な安全対策に取り組むとのことです。



## しっかり聞く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

※メールアドレスを変更致しました

mail (新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索  
<https://www.yazawa-t.jp/>  
[twitter](#) [facebook](#) [Instagram](#)



## 新築工事の入札不調及び 今後の方針

新築工事では3度に渡る入札にも関わらず不調となり見通しの甘さが露呈、設備4工事においては入札を中止としなければならず、工事を大幅に延期しなければならない事態となりました。

今回の不調に伴い、設計の見直しが行われますが、設計業者の選定方法、設計委託に要する費用を含めた見直しにより、今後、新築工事にかかる事業費の再算出が行われます。新たな事業費の公表時期はどうなっていくのか伺いました。

市は、設計者としての責任区分や時間的な制約から、これまで基本設計と実施設計を委託していた設計事務所と随意契約したところであります。費用については約1億1千5百万円です。また、今後必要となる費用の公表時期については本年秋頃までに公表して参りたいとのことです。我が会派は、引き続き注視し、早期建設着工を目指しつつも、競争性の確保についてもしっかりと訴えてまいります。



## 多摩区における殺傷事件の 再発防止に関する決議案が可決

### 多摩区における殺傷事件の再発防止に関する決議

5月28日、多摩区において、スクールバスを待っていた子どもたちと保護者が突然襲われ、18人が負傷し、2人が命を奪われるという理不尽かつ悲惨な事件が発生した。

本市議会は、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、心身ともに深い傷を負われた方々に心からお見舞いを申し上げるところである。

被害者の多くが子どもであることから丁寧な心のケアが必要とされるとともに、不安や恐れを感じながら日々生活している市民のためにも、再発防止に向けて、通学路や公園等において警察官が重点的な警戒をすること、地域団体による見守りを充実させること、地域住民の防犯意識を向上させることなど、社会全体で子どもたちの安全を確保していくなければならない。

また、加害者が社会との関わり合いをほとんど持っていないことなどが明らかにされている。

加害者が自ら命を絶っている中で事件の全容解明は難しい状況にあるが、貧困、失業や8050問題等による社会的な孤立、偏見、差別等や地域コミュニティの希薄化が問題とされていることに鑑みると、困難や心労を抱える市民の行政に対する相談が促進されるとともに、地域の人と人が繋がり、理解し合い、孤立を生まない社会、一緒に生きようとする手を差し伸べられる社会の構築を推進していくなければならない。

よって、本市議会は、被害者の心のケアや、子どもたちの安全確保に向けた再発防止策が実効的に実施されるよう努めるとともに、市民が互いに手を携えて心穏やかに生きることができる社会の構築に向けて力を尽くすなど、二度とこのような事件が生じないよう全力で取り組むことを強く決意するものである。

以上、決議する。

令和元年6月27日

川崎市議会



## 矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる（33歳）
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社・平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議會議員（宮前区）初当選・現在二期目
- 趣味：剣道四段（五段に向け修行中）、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段
- 家庭：妻・息子